



保坂まさひろ緊急提言！ 都民ファーストの会 東京大改革で、新しい東京を！

1. 上野・浅草の次の100年が、東京の原動力となる 上野駅舎開業100周年（2032年）に向けて今から準備を！

現在の上野駅舎は開業87年目を迎えていますが、老朽化が進んでおり、大改修と同時に、台東区、上野に相応しい**新たな駅舎**が求められています。

これまで、上野駅の高層ビル化計画が30年程前にあり、凍結されたままでしたが、今回の駅隣の国立西洋美術館が世界文化遺産に登録されたことによる緩衝地帯の影響で、事実上、**高層化の実現は困難**になりました。

今も昔も、**東京の東の中心**、そして**浅草への玄関口**は上野駅です。しかし現実には、渋谷、新宿、原宿、品川、東京駅を中心に、東京23区西側の開発が進んでおり、このままでは、**23区の東側が取り残される**ことに強い危機感を持っています。今こそ、駅舎開業100周年に向けて、地域はもちろん、区、都、国をあげて駅舎大改修の準備に入るときだと考えています。

私は、高層化にこだわらず、となりの**鶯谷駅までの約800mの線路上をコンクリートでふた**をして、駅舎を横に伸ばすことを提案しています。縦でなく横に伸ばすことで、区のような課題をクリアすることができるでしょう。例えば、上野公園の拡張で屋上緑化、観光バス、タクシー、国際会議場、ホテル、商業施設などが入る**複合ターミナル**となれば、まぎれもなく**オンリーワン**の駅舎となります。また、かつて**北の玄関口として繁栄した上野駅を取り戻す**べく、東北地区の情報発信の拠点駅として、東北と共に成長することは、台東区にとっても、東東京の中心エリアとしての大きな使命ではないでしょうか。

今後も皆さんと一緒に、上野、浅草を中心とする周辺地域の将来を考えてまいります。

成長戦略で台東区が、将来の東京をけん引する！

2. 都電の延伸で、東東京の新時代を迎える

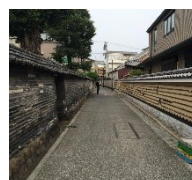


都電の循環路線化は、地域発展だけでなく、高齢化社会を迎える東京の救世主！

都電荒川線は、早稲田駅から、三ノ輪橋駅までの、全長約12.2km、停留所数30を有する都内唯一の路面電車です。利用者は1日平均約4.6万人と40年前と比べると半数くらいになりましたが、現在、路面電車の価値が日本だけでなく、世界でも見直されています。かつての高度経済成長による自動車社会の到来で、都電の線路から道路へと変わりました。しかし、環境配慮社会が到来しつつある中で、カーシェアリングや高齢化で、**都内の交通スタイルは変わりつつあります**。路面電車も、**次世代車両のLRT**が登場し、国内でも既に実用化されています。最大のメリットは、低コスト（地下鉄の1/10）、軽量、ノンステップです。

都電のLRT化のタイミングこそ、**延伸化のチャンス**ではないかと考えています。三ノ輪橋から、**区内北部、浅草、上野を通過**し、江戸川橋に向う、**東東京を循環する新交通システム構想**です。これにより、地域の発展だけでなく、高齢化社会の福祉電車としても期待が持てます。

特に、区内では、**北部の交通課題が長年の課題**でありますので、延伸により地域が一変するくらいのインパクトがあります。これから北部のまちづくりも本格的に始まりますので、地域はもちろん、**区と都が一体となって取り組んでいく必要がある**と考えています。



3. 無電柱化が、東京の新たな時代をつくる

区道路の無電柱化こそが最大の課題。都との連携で未来を切り開く！

電柱の無いまちは、防災だけでなく、景観、バリアフリーの観点からも、将来のまちづくりにとっても重要なテーマです。先進国の都市では無電柱化率が90%も珍しくありません。東京において、なかなか進まない、その**最大の課題は、電柱設置費の約22倍**という高コストと長い工期です。

特に都道38%に比べて、**23区道路の無電柱化率は7%**でしかありません。災害時の電柱リスクが高いのは木造密集市街地ですので、できるところから進めていく必要があります。

浅層埋設の低コスト手法の導入や、**都からの財政支援を最大限利用**して、区道の無電柱化を進めていくチャンスが拡大しつつあります。国際観光都市として、誰もが住みやすい下町台東を目指すためにも、**台東区こそ、積極的に進めていくべき事業**ではないかと考えています。

都民ファーストの会

討議資料

保坂まさひろ

区政レポート 特別号 Vol. 6



平素よりお世話になっております。この度、私は、自民党を離れ、小池都知事と活動を共にすることになりましたことをご報告します。東京2020五輪大会目前、そして激動の時代、今こそ**旧態依然の都政を大改革**しなければ、東京はもちろん、台東区も取り残されるという、強い**危機感を抱いての決断**です。常にチャレンジしていく姿勢で、様々な難題に取り組んで参りますので、皆様の変わらぬご指導をお願い致します！

クローズアップ 台東区議会の動き

平成29年度予算が可決されました。（一般会計予算988億円）

保育施設の整備を加速させます！

平成27・28年度は9か所約450名分の保育施設を整備してきましたが、不足状態が続いています。そこで、**29年度以降で、13施設約700名分の増設**を目指した予算が計上されました。公有地での整備も含めて、事業を進めていくことになります。

小学校のICT教育が更に進みます！

小中学校の**特別支援学級に1人1台のタブレットPCを配置**し、障害に応じたきめ細かな学習指導が実施されます。各小学校には国語、中学校には国語、英語のデジタル教科書が追加導入されます。

台東区発足70周年の事業内容が決まりました！

今年は、**昭和22年に旧下谷区と旧浅草区が合併**し、台東区が発足して70年にあたります。年間を通じて、発足70周年を記念する各関連事業が実施されます。

北部地区まちづくりが、動き出します！

宿泊機能の充実、市街地の不燃化による防災性・交通利便性の向上、地場産業の活性化などの課題や動向を複合的に捉えた、**計画的なまちづくり**が進みます。

大規模用地活用の検討で、その方向性を示します！

平成29年度は、旧坂本小学校（下谷）、旧東京北部小包集中跡地（清川）の跡地活用について、事業の可能性検証、諸条件の整理、整備手法等の検討を進め、地域住民の意見を聞きながら、**区としての活用をまとめていきます**。

第2回台東区産業フェアの開催が決まりました！

28年度に続いて、29年度も開催し、海外販路開拓も目指して、ASEAN諸国を招待し、海外にも**台東区の地場産業を「台東区ブランド」として発信**します。開催予定：2017年10月26日～27日

保坂まさひろ プロフィール（都民ファーストの会 台東区議会議員 42歳）

台東区立忍岡小学校、上野中学校、東海大付属高輪台高校、東海大学政治経済学部卒業
米WVウエズリアン大学大学院卒業(MBA修了)、ANA(全日空)入社、ニューヨーク支店JFK国際空港勤務時の、9.11同時多発テロの体験を通じて、都市整備、危機管理について強い関心をもつ。
帰国後、(株)バンダイを経て、2015年4月台東区議会議員選挙に初挑戦。
4,425票（第1位）を頂き初当選。 両親、妻、2児と同居中。

趣味：野球、水泳、ボウリング、読書 尊敬する人物：徳川家康、JMケインズ
好きな言葉：限りなき挑戦（Endless Challenge）



保坂まさひろ 取り組んでいます！

1. 感震ブレーカーの配布が決まりました！

区の防災力底上げが必要であるという考えから、これまで区長にお願いをしてきました、谷中の木造住宅密集市街地での、**簡易型の感震ブレーカー配布(29年度)**が決まりました。また、これまでの分電盤式・コンセント型の設置助成も引き続き実施していきます。

対象地域：谷中2、3、5丁目地区（地震時等に著しく危険な密集市街地に相当する地域）
配布対象：対象地域に住民登録のある世帯の希望者（賃貸も可）
配布予定数：1,600個
※事前周知及び希望調査票を発送したのち、秋以降の配布予定となります。

2. 商店街空き店舗対策を拡充します！

28年度決算でも、これまでの課題を整理し、改善の必要性について提起してきました空き店舗対策ですが、この度、支援の拡充が、29年度予算に計上されました。特に、地域の生活基盤となっている**近隣型商店街への支援**となる内容となっています。更に魅力ある商店街となるよう、行政としてできることは積極的に実施していけるよう努めていきます。

- ①区内商店街の空き店舗の借り手と貸し手の**マッチング支援**
- ②空き店舗の借り手への**家賃補助を1年から3年に延長**（借り手向け）
- ③空き店舗の**所有者居住スペースと店舗部分の分離工事の支援**（所有者向け）

3. 忍岡こども園の今秋オープンにむけて。

平成29年10月の開園（予定）に向けて、運営事業者も無事に決まり、施設工事も順調に進んでいます。地域に愛される園となるよう、**忍岡小学校、地域と一体となって支えていく**ように努めてまいります。

法人名	社会福祉法人東京児童協会（たいとうこども園事業者）
運営形態	民設民営・保育所型認定こども園（忍岡小学校敷地内）
開設年月日	平成29年10月1日（予定）
構造・延床面積	鉄筋コンクリート造・地上4階建・597.60平方メートル
定員	73名

※希望者説明会は今夏を予定。

4. かけっこ倶楽部「体育塾」を実施しました！

子供達の運動能力向上を目指して、これまで実施してきました、かけっこ倶楽部ですが、今回は体操を中心とする「体育塾」を実施しました。主に、区内の低学年中心に、なわとび、跳び箱を学びました。小学校高学年、中学生になるにつれ、運動する時間が限られてくる傾向ですので、今から**基礎的な体力がつけられるような環境**を作っていきたいと考えています。



5. 上野の森ハーフマラソンを応援しています！



地域イベント「上野の森ハーフマラソン」の今年の開催も決まりました。同イベントは、**地元の住民、学校、企業がボランティア参加**され、一体となり盛り上げるスポーツイベントです。参加ランナーは800名と回を重ねるごとに増えております。上野公園、上野動物園、上野寛永寺の全面協力により、上野公園、動物園、不忍池を気持ちよく走ることができる**オンリーワンのマラソン大会**です。また、**地域コミュニティを高める**ことにも多大に寄与している、意味あるイベントでもあります。

第5回開催決定！ 予定時期：2017年12月17日 日曜日

29年度予算特別委員会にて区長に質問！

1. 自転車利用環境について

①今後の自転車走行空間について

今後の自転車走行空間の整備は、**広域での連続性**を保つために、隣接区と協議し、安全安心に相互乗入れができる環境が必要ではないか。また、これまで整備対象外だった、**歩行者の多い上野地区にこそ走行空間が必要**ではないか。都道の中央通り、不忍通り等は、東京都と連携し走行空間を整備すべきではないか。

服部区長 答弁

隣接区と連続した走行空間の整備は安全安心の観点から有効である。今年1月に設置された、東京国道事務所と東京都による「自転車 通行空間ネットワーク計画調整会議」を通じて**隣接区と協議する**。また、上野地区での走行空間整備は、今年度、警視庁が定めた、都内の「自転車ナビルート設置計画」には、**上野地区も対象**となっているので、計画の**着実な実行**を申し入れる。

②今後のタウンサイクル（レンタル自転車）事業について

タウンサイクルの利用数が近年減少している。次のステージとして、近隣区も実施している**自転車シェアリング事業の導入を検討する時期**にきているのではないかと。また、土地確保が難しい本区において、サイクルポート（専用駐輪場）として区有施設や区有地の提供も必要ではないか。

服部区長 答弁

他区での課題を整理しながら、放置自転車対策として本区に適した**シェアリング事業について引き続き検討**していく。サイクルポートの設置は、個所を多くすることが利便性向上につながるため区有施設や区有地に限らず民有地の活用を含めて検討する。



2. たばこ対策について

①屋外での喫煙環境の改善について

路上に設置している既存の喫煙スポットは、おもてなしの観点などから、**煙対策が十分とはいえない**。今後、東京2020五輪大会に向けて、煙の拡散を防ぐ工夫をするなど、路上の喫煙スポットの更なる**改善を推進**していくべきではないか。

服部区長 答弁

既存の喫煙スポットは、歩行者の安全確保を図りながら、煙の拡散を防止する形状にする工夫等が必要である。今後も、東京2020大会を見据え、地域の皆様や関係機関と協議の上、JT社と協力し、**喫煙スポットの形態やパーテーション設備などの改善策を検討する**。



②受動喫煙防止対策について

事業所、宿泊施設、飲食店内での分煙環境の改善について、**国・都・区で様々な助成制度**を別々に実施しており、相乗効果があるとは言えない状況である。国や都の助成の案内を、**現場に近い区がフォロー**すれば、より受動喫煙防止環境が整備された、喫煙者と非喫煙者が共存できる社会に近づけるのではないかと。

服部区長 答弁

委員指摘の喫煙室の設置等の、国や都の助成事業は、区の「おいしい空気おもてなし店」事業と合わせて、事業者**に広く情報提供できるよう工夫していく**。



3. 仮称）台東区文化プログラム策定について

東京2020に向けて、国際文化観光都市としての強みである文化力を国内外にPRする史上最大のチャンスを迎えている。**区民がより気軽に芸術文化に触れられる環境をつくる**ことが、本区の文化力向上につながるのではないかと。芸術文化財団等と連携し、これまで実施してきた芸術文化イベントを中心に、「台東区文化プログラム」を早急にまとめ、実行に移すべきではないか。

服部区長 答弁

既に、庁内での検討を開始しており、今後は外部委員を含む策定委員会を設置し、幅広い視点からご意見を伺いながら、**早急に文化プログラムをとりまとめ、教育委員会や芸術文化財団等と一体となって着実に事業を展開していく**。